

委員会報告

2017～2018年度

No.1

第 4 回

委員会名 中長期ビジョン委員会

委員長名 L中嶋 文夫

開催日時	2017年11月21日月曜日 15時45分 ～ 17時00分		
開催場所	キャビネット事務局小会議室		
出席者	○ L 中嶋 文夫 委員長	○ L 高橋 美恵子 副委員長	L 元田 秀治 副委員長
	L 川口 学 副委員長	○ L 福田 守弘 アドバイザー	○ L 杉田 昇 副委員長
	L 江森 陽子 委員	○ L 小笠原 耕司 副委員長	L 新淵 伸也 委員
	○ L 和崎 健治 委員	○ L 七戸 淳 委員	L 相野谷 信之 委員
	L 島崎 政虎 委員	○ L 市原 晃毅 委員	L 清水 健二 委員
	L 関 飛雄一 委員	○ L 中村 久文 委員	○ L 杉谷 洋二 委員
	出席オブザーバー		
	○ L山本 憲一 キャビネット副幹事		
次 第	司会・進行 L 杉田 昇		
	1	開会挨拶 副委員長 L中村久文	
	2	委員長挨拶	
	3	議事録作成者 L杉谷 洋二	
	4	承認事項:第3回委員会議事録	
	5	報告事項 キャビネット報告事項 担当副幹事 L山本 憲一	
	6	協議事項	
		①当該年度の問題点 ②ライオンズクラブ100周年を迎えた地区運営(守ること、改革すべき事)	
	③オリンピック・パラリンピックのLCとしての構想と創造 11/14打ち合わせ報告		
	④11/13第2回キャビネット会議の委員会報告		
議 題	審議経過事項の概要		
	1	委員長挨拶 中嶋委員長	
		11月13日キャビネット会議における報告とオリンピック・パラリンピックの都打ち合わせを行ったことの説明。	
	2	キャビネット報告事項 担当副幹事 L山本 憲一	
		・12/1 フジコヘミング チャリティコンサートS席完売。11/25新宿アクティビティの案内。	
	3	協議事項	
		①当該年度の問題点 ②ライオンズクラブ100周年を迎えた地区運営(守ること、改革すべき事)	
		③オリンピック・パラリンピックのLCとしての構想と創造	
		委員長より、これまでの討議確認、課題等について、レジュメにそって確認。	
	1.中長期ビジョンの定義づけの提案		
次回開催日時	2017年 12月18日 月曜日 15時45分 ～17時00分		
場所	キャビネット事務局小会議室		
	作成者	L杉谷 洋二	

議 題	審議経過事項の概要
	中長期の定義・ビジョンの設定がなせれず、単年度のみで実りが少ない。
	ビジョン→長期(5～10年)→中期(3年)→単年度 サイクルを意識したうえで、各単年度の策定及び
	実行が肝要である。
	・本年度のケース(これまでの討議における案)
	長期目標
	クラブ会員数の増大化
	社会奉仕活動見直し、新たな地域社会に貢献
	プログラムの重点分野の明確化
	中期目標
	オリパラとの連携
	減少傾向クラブの立て直し方策
	アクティビティ見直し
	問題点の調査、分析
	単年度目標
	キャビネット、ビジョン、各ライオンズそれぞれが活動の活性化の為、具体的プラン作成、実行。
	①当該年度の問題点
	・女性・家族・賛助会員の現状と分析。
	機能しているクラブとしていないクラブがある。
	・ アクティビティの多様化
	ゾーン単位、他団体との連携等検討していく必要がある。
	・YES生等ライオンズとの関わりの深い団体との連携強化により会員増強を図る。
	・ 新規アクティビティの創設
	クールジャパン戦略に依拠したアクティビティなど、成功しているクラブも多数ある。
	魅力あるアクティビティの創設が必要。
	主な意見として、アクティビティは特に重要であり、成功しているアクティビティや、
	皆の関心のあるテーマをゾーン単位で企画するなどの意見が多かった。
	オリンピック・パラリンピックのLCとしての構想と創造
	11/14 東京都打ち合わせ結果について L小笠原副委員長より説明。
	詳細については、「東京都オリンピック準備局打ち合わせ報告」参照。
	・ 検討・方針事項
	都と別枠で連携していく。
	ライオンズクラブの広報→営業活動に繋がっていなければ可能。
	オリパラ特別委員会、組織委員会、東京都との連携

議 題	審議経過事項の概要
	チケットは組織委員会の販売だが、事前購入や1000名程度の付き添いは、チケットを購入していれば可能。早急に都に報告する必要あり。
パラリンピック練習の支援については、バリアフリーの観点から難しい。	
ただし、オリンピック練習場に関しては、港区と提携した例もあり、今後確認していく。	
その他	
複合セミナーについては、改善策提示の上、今後セミナーを開催すべきか検討していく。	
来期の申送り事項について、次回以降討議していく。	
議事録作成 杉谷	
これまでの討議により、中長期ビジョンの道が少しずつ見えてきております。	
今年度も残り1回の委員会ですので、次回皆さんとお会いできることを楽しみにしております。	